

気づいたら結構間があいてしまいました。

この間はいろいろ当院のがんについての手続きがいろいろありました。

まだ、断定的なご報告をできる形でないので、私のライフワークの一つと考えている がん教育 について再度述べたいと思います。

11月11日 諏訪中学校で昨年に引き続き、三年生の生徒さんに授業させていただく機会を持ちました。

長野県主催のがん教育に関する勉強会などで知り合った、がん教育に外部講師として携わろうと考えているいわば同志の方々も見学にきていただいております。

同業の方とかいとやはり緊張するものです。

学校の先生が、事前に生徒さん達に私に聞きたいことなどをアンケートしていただいていたので、それにお答えしながら、がんについての概説を行うスタイルとしました。

昨年も同校の三年生から質問を受けていましたが、やはり毎年生徒さんが変わるのでご質問内容もその年々のカラーがあると感じました。

どれも真剣にご質問いただいております、がんの専門家としてお答えする以上、きちんとお答えすべきことであり、改めて文献を当たって中学生にも理解できるようかみ砕いて解説するよう準備して望みました。

生徒さんたちは大変優秀かつ教育が行き届いていて50分と長丁場でしたが最後まで興味をもって私の話をきいてくれていました（『代表の生徒さん、最後に一言いただいたために真剣にメモったりしてくれてご苦労様でした。内容を理解してくれたことがわかって、おじさんはとてもうれしかったです。ありがとう』）。

同校で2回目、つまり、リピーターになっていただけたということで大変うれしい時間を持つてました。

来年も是非ご依頼いただければと思っていますし、他校からもお声がけいただければうれしいと思います（講演料も交通費もいただきません）。

また、こうして通常の勤務帯に、私が病院外にでて、自分の好きながん教育に携わることができるのは、私の不在時、病棟業務等を代行してくれている同僚に支えられているからです。あまり直接ありがとうというのは照れるので、このコラムでお礼をいっておきたいと思えます。

来月は、市内の小学校でしゃべる機会をいただいております、また中学生とちがった形での準備が必要と思ひ、頭をひねっている今日この頃です。

では、また。

